

No.	年齢期	ご意見	分類
1	0歳から6歳	地域の大人が運営する様々な体験活動に参加できる場がほしい	つながり・交流
2	0歳から6歳	子供も親も交流を通して気軽な育児相談ができる	つながり・交流
3	0歳から6歳	週末に自由に集える場所がたくさんあるとよい	つながり・交流
4	0歳から6歳	子育てについて(楽しいことも悩めることも)を気軽に話せる場	つながり・交流
5	0歳から6歳	幼児がママと一緒に参加して楽しめる仲間づくりのできる場をもっと拡大してほしい	つながり・交流
6	0歳から6歳	幼児期は親の影響が大きいので、子育て中の親が安心して心豊かな状況であれば子どもは健やかに育つと思う。そこで、幼稚園や保育園の枠組みでなく、親同士、子ども同士と一緒にあるいは別々に過ごせ、コーディネーターが常駐する場が各地に欲しい。	つながり・交流
7	0歳から6歳	幼児がママと一緒に参加して楽しめる仲間づくりのできる場をもっと拡大してほしい	支え合い
8	0歳から6歳	ICT民生委員が地域に配属されていて、SNSで子育て相談ができる	支え合い
9	0歳から6歳	幼児期は親の影響が大きいので、子育て中の親が安心して心豊かな状況であれば子どもは健やかに育つと思う。そこで、幼稚園や保育園の枠組みでなく、親同士、子ども同士と一緒にあるいは別々に過ごせ、コーディネーターが常駐する場が各地に欲しい。	支え合い
10	0歳から6歳	安心して遊べる・楽しめる緑地、公園が近くにあれば良い	安心・安全
11	0歳から6歳	子どもが安心して出かけられる環境がほしい	安心・安全
12	0歳から6歳	子どもを安心して預ける保育所や病児保育、各種サービスの充実	安心・安全
13	0歳から6歳	安心、安全な遊び環境	安心・安全
14	0歳から6歳	外に出て安心して遊べる場所が近くにある。幼児が夢中になれる環境が整っている。	安心・安全
15	0歳から6歳	安心して遊べる・楽しめる緑地、公園が近くにあれば良い。	場所
16	0歳から6歳	安心、安全な遊び環境	場所
17	0歳から6歳	週末が雨の時に遊べる情報がほしい	場所
18	0歳から6歳	週末に自由に集える場所がたくさんあるとよい	場所
19	0歳から6歳	親と子どもの触れ合える公的な場所が欲しい。さらに、子ども同士が交流できる場所とリンクされている場所が、相互に共有できることが理想的である。	場所
20	0歳から6歳	子供が虫取りや川遊びなど自然の中での遊びができる場があるとよい。	場所
21	0歳から6歳	親子でゆっくりのびのび遊べる場(絵本や木育玩具などがある)	場所
22	0歳から6歳	子育てについて(楽しいことも悩めることも)を気軽に話せる場	場所
23	0歳から6歳	外に出て安心して遊べる場所が近くにある。幼児が夢中になれる環境が整っている。	場所
24	0歳から6歳	今後は益々共働き夫婦が増加すると考えられるので、待機児童をなくすように保育園を小学校の隣接地に増園し、延長保育や開園前の預かり保育などを更に充実させ、低学年の兄弟姉妹と一緒に親のお迎えを待てる環境が整っていると、親も子どもも精神的に安心できる	場所
25	0歳から6歳	幼児がママと一緒に参加して楽しめる仲間づくりのできる場をもっと拡大してほしい	場所
26	0歳から6歳	子供たちが安心して交流できる場所の確保	場所
27	0歳から6歳	空き家を利用するなどの小規模保育園が認可保育園のサテライトで数多く存在している	場所
28	0歳から6歳	幼児期は親の影響が大きいので、子育て中の親が安心して心豊かな状況であれば子どもは健やかに育つと思う。そこで、幼稚園や保育園の枠組みでなく、親同士、子ども同士と一緒にあるいは別々に過ごせ、コーディネーターが常駐する場が各地に欲しい。	場所
29	0歳から6歳	障害の早期発見と早期治療が充実するとともに、医療ケアを継続して必要となる児童とその家族が利用できる福祉サービスも充実している。	その他
30	0歳から6歳	保育園等による祝祭日、延長保育を充実させる	その他
31	7歳から18歳	地域の大人が運営する様々な体験活動に参加し・参画できる場がほしい	つながり・交流
32	7歳から18歳	部活のような学校単位ではないスポーツや文化交流の充実	つながり・交流
33	7歳から18歳	異年齢の交流を促してくれる環境	つながり・交流
34	7歳から18歳	優しい大人がたくさんいるんだということが実感できる意図的な交流環境づくり	つながり・交流
35	7歳から18歳	こんなお兄さん、お姉さんになりたいというロールモデルができるような環境づくり	つながり・交流
36	7歳から18歳	貧困家庭、ひきこもり児童への福祉サービスが地区ごとにきめ細かく提供できている。SNS上でアバターによる交流の場があり、引きこもり児童との接点を持つことが出来ている。学校教育と福祉事業とが連携し、学齢児童のアイデンティティ確立支援を実施している。	つながり・交流
37	7歳から18歳	いじめや自殺のない学校生活。いじめを受けた経験者や子どもを自殺で失った親による話を聞く場を年一回位設けることで、命の大切さを教え、いじめをなくす教育を望む	支え合い
38	7歳から18歳	通学路が整備されている。	安心・安全
39	7歳から18歳	食べ物・物・生き物の大切さを知ってほしい。例えば農業体験等を出来る環境があれば良い。	場所
40	7歳から18歳	子どもが自学自習や勉強しあえるスペースがあると良い	場所
41	7歳から18歳	学校教育とは別に「福祉」について体験や学びをする場があるとよい	場所
42	7歳から18歳	地域の大人が運営する様々な体験活動に参加し・参画できる場がほしい	場所
43	7歳から18歳	子ども同士が学び合える場所が一定地域に分散して設置されていることが望ましい。子供の居場所の施設が欲しい。例えば、図書館、コミュニティセンターなどの複合施設などが望ましい。友達同士で勉強も進んでできるとともに、遊びもできるような、例えば、現在の子どもセンターとか子どもクラブのような施設などを充実してほしい	場所
44	7歳から18歳	自分たちで様々な工夫ができる自然体験型施設	場所
45	7歳から18歳	地域のスポーツクラブなどが充実している。	場所
46	7歳から18歳	小学生が休日や夏休みに工作や実験などを体験できる場を常時開設してほしい	場所
47	7歳から18歳	図書館の充実を希望。蔵書とともに、家庭に勉強する環境がない(自分だけの部屋がない、兄弟姉妹がうるさいなど)、高校・大学受験生が静かに学習できるようテーブル・椅子を置いた部屋を広めに設置してほしい。これは読書したり調べ物をする壮年、老年期の市民にも必要と思う。	場所
48	7歳から18歳	スポーツができる場所の確保	場所
49	7歳から18歳	個が大切にされる、自由に集まれる常駐のコーディネーターがいる居場所が地域にほしい。	場所
50	7歳から18歳	学校におけるオンライン教育の充実、経済的な格差による教育などの機会に差が生まれにくいような施策の充実	その他
51	7歳から18歳	画一的な学校教育ではなく、ホームティーチング、国内留学など様々な成長の仕方が一般的になっているとよい。	その他
52	7歳から18歳	中学校の給食化	その他
53	7歳から18歳	子育て世帯は家賃が無料(団地の高層階など)	その他
54	7歳から18歳	オンラインでの自宅学習が無料で充実している	その他
55	7歳から18歳	小学校、中学校にスクールソーシャルワーカーの増配置をする	その他
56	7歳から18歳	子どもが先生やカリキュラムを比較し学校を選ぶようにしたら、自由度が広がり楽しいと思う。	その他
57	19歳から64歳	地域で子育て世代をサポートできる環境が充実すると良い	つながり・交流
58	19歳から64歳	何かやりたいと思っている大学生を積極的に活用してくれる場所	つながり・交流
59	19歳から64歳	地域のコミュニティ施設とか、子育て、居場所施設等の充実が望ましい。いろいろな趣味を持った人たちが集って交流できる多目的な施設が欲しい	つながり・交流
60	19歳から64歳	地域と繋がれるようなイベント	つながり・交流
61	19歳から64歳	スポーツや趣味を通しての交流 (誰でも参加できるようなスポーツ大会、サークル活動など)を開催	みんな、誰も、多世代
62	19歳から64歳	各地区に、世代を超えて楽しく触れ合えるいろいろな趣味やスポーツのクラブ設置(場所の提供)。得意な分野を活かして指導する人の生きがいにもなる	みんな、誰も、多世代
63	19歳から64歳	高齢者施設等にて介護を学び、ボランティアや家族の介護につなげれば良い。	支え合い
64	19歳から64歳	ちょっとしたことで社会の役に立ちたいと思っている子育て世代は多いので、そのような人たちと社会をつなぐ仕組みづくりと情報発信システムづくり	支え合い
65	19歳から64歳	虐待される子どもを増やさないために、若い世代の親への定期的な家庭訪問の機会があるといい。訪問相談は行政に限らず、民生児童委員や子育ての経験豊富なボランティアなどに協力してもらおう	支え合い
66	19歳から64歳	支える側、支えられる側が必要に応じて交代する。時間がない中で効率的に行うには身近な地域の協力が不可欠となる。インフォーマルな子育て・介護は地域が協力できるまちになってほしい。	支え合い
67	19歳から64歳	地域で子育て世代をサポートできる環境が充実すると良い	場所
68	19歳から64歳	「福祉」について体験や学びをする場があるとよい	場所
69	19歳から64歳	子どもへの接し方や育て方を学べる場があると良い	場所
70	19歳から64歳	地域のコミュニティ施設とか、子育て、居場所施設等の充実が望ましい。いろいろな趣味を持った人たちが集って交流できる多目的な施設が欲しい	場所

No.	年齢期	ご意見	分類
71	19歳から64歳	各地区に、世代を超えて楽しく触れ合えるいろいろな趣味やスポーツのクラブ設置(場所の提供)。得意な分野を活かして指導する人の生きがいにもなる	場所
72	19歳から64歳	公園等で生活習慣病予防プログラムが行われている	場所
73	19歳から64歳	若い世代が暮らしやすく経済的にも負担がかからない施策(住宅補助や子育て施策)の充実、引きこもりなど一度挫折してもセカンドチャンスが豊かに提供される地域	その他
74	19歳から64歳	今の学生たちは、アルバイトを数多く行っている、まちづくりを実感できるアルバイト環境がほしい	その他
75	19歳から64歳	ちょっとしたことで社会の役に立ちたいと思っている子育て世代は多いので、そのような人々と社会をつなぐ仕組みづくりと情報発信システムづくり	その他
76	19歳から64歳	障害者の自立支援が充実し、社会参加が促進しているため、「親亡き後」の問題は解消している。障害者に対する合理的配慮をしない、もしくは差別する事例に対して罰則が適用されるようになり、障害者差別が減少している。福祉における国家資格は実践現場で実用できる内容となり、即戦力化されている。この年齢の市民は、公共への貢献活動おすすめ100選の中から選んだ活動を年間24時間することでGotoトラベルもしくはGotoイート券10万円分をもらえる。公共への貢献活動おすすめ100選で活躍し、起業する際には審査の上、承認されれば、サポートしてもらえる体制がある。	その他
77	19歳から64歳	誰もがQOLを維持しつつ働ける地域になっているとよい。結婚し子供を授かり育てたいと思える地域になっているとよい。	その他
78	19歳から64歳	防災害、緊急時の対応方法や情報収集を学べる場	その他
79	19歳から64歳	働く場所がある。介護施設が充実している。近隣に介護福祉施設がある。公立の図書館が整っている。交通のアクセスがよい。所得格差を是正し、低所得であってもサポート体制を充実させる。	その他
80	19歳から64歳	虐待される子どもを増やさないために、若い世代の親への定期的な家庭訪問の機会があるといい。訪問相談は行政に限らず、民生児童委員や子育ての経験豊富なボランティアなどに協力してもらおう	その他
81	19歳から64歳	学生を支援する環境が欲しい	その他
82	19歳から64歳	医科・歯科健診をできる環境の確保	その他
83	19歳から64歳	人生前半の社会保障の充実、年金は何歳からでも受けられる	その他
84	19歳から64歳	在宅勤務が益々進むと想定できる。この世代が昼間、地域にいた場合、合間の時間を活用した活動が可能となる。地域の情報が地域から情報発信できる環境がほしい。	その他
85	65歳以上	ひとり暮らしの高齢者同士が支え合うしくみづくり	支え合い
86	65歳以上	高齢者による高齢者の介護が現実化する、できる事を無理のないように分担していく	支え合い
87	65歳以上	ひとり暮らしの高齢者を支え合える環境の確保	支え合い
88	65歳以上	元気なうちは社会貢献し、自分が社会から必要とされているという感覚を得ることが必要だと思う。それを地域の中で実現するための相談センター、活動場所が地域に欲しい。その場所には常駐のコーディネーターがほしい。	支え合い
89	65歳以上	高齢者・長く住んだ自宅で看取る体制が充実している。身寄りのない独居高齢者も、安心して最後まで暮らせる施策の充実	安心・安全
90	65歳以上	高齢者同士が集いて安心できるような場所が欲しい。子どもとも触れ合えるような施設が必要である	安心・安全
91	65歳以上	子どもへの接し方や育て方を学び、実践する(社会参加の)場ができるとよい	場所
92	65歳以上	高齢者同士が集いて安心できるような場所が欲しい。子どもとも触れ合えるような施設が必要である	場所
93	65歳以上	集団が苦手な方が気軽に立ち寄れる場があるとよい。	場所
94	65歳以上	社協が推進するふれあいサロンは、高齢者の居場所づくりには有意義であるが、月1回程度のサロンが多い、行きたい時に開催されていない場合が多い。いつでも好きな時に立ち寄れる場所、情報交換したり話し合ったりできる場所が常設されているとよい。介護に繋がった高齢者はサービス等を利用すればいいが、介護予防の高齢者が集える場所が歩いて行ける範囲にあると便利。	場所
95	65歳以上	小中学廃校の校舎を健康増進介護予防拠点にする	場所
96	65歳以上	元気なうちは社会貢献し、自分が社会から必要とされているという感覚を得ることが必要だと思う。それを地域の中で実現するための相談センター、活動場所が地域に欲しい。その場所には常駐のコーディネーターがほしい。	場所
97	65歳以上	高齢者施設等にて、介護を学び健康管理につなげ、要介護状態を減らせばよい。	その他
98	65歳以上	AIを活用した介護ロボットが活躍する一方で、高齢者の生きがい支援メニューが拡大している。生きがい支援メニューのサポーターは市民活動の一環として奨励されている。	その他
99	65歳以上	運転しなくなった高齢者が自由に動ける地域になっているとよい(シニアカーなどの進化?自動運転車?)。一般庶民が入れる介護付き高齢者住宅ができてるとよい。	その他
100	65歳以上	高齢になっても生活に必要な情報(行政サービス、災害、買い物、医療健康など)を収集・活用するために必要なITの活用方法などアドバイスしてくれるシステム	その他
101	65歳以上	フレイル・オーラルフレイルの予防が出来る環境の確保	その他
102	65歳以上	定年制度の廃止	その他
103	65歳以上	認知症対応型地域密着型サービスの拡充	その他
104	65歳以上	小中学廃校の校舎を健康増進介護予防拠点にする	その他
105	その他	外国人の人たちの社会貢献や社会的なつながりが構築できるといいなと思っています。今後の大きなマンパワーになるのではないかなと思うので、地域社会の一員としてとらえていけないうかと思っています。	つながり・交流
106	その他	性犯罪被害者の方のワンストップ対応窓口(二次被害防止のため)や社会とのつながりづくりができるといいなと思います。	つながり・交流
107	その他	地域における繋がりが大切なので、地域のコミュニティづくりも並行して構築することが必要である。時代と共に近隣同士の触れ合いが希薄になる傾向があるので、地域同士の交流も大切である。	つながり・交流
108	その他	高齢者、障がい者、外国人等の枠組みを超え、様々な方が集うことのできる場所が欲しい。	みんな、誰も、多世代
109	その他	医療介護の情報が共有されてきちんと連携された仕組みが運用されているとよい。障害者も地域で普通に働ける世の中になっているとよい。ひきこもりという言葉がなくなっている世の中になっているとよい。	みんな、誰も、多世代
110	その他	最近、ポッチャ大会が開催され始めたが、障がいを抱える人も健常者も高齢者も混合でチームを作り一緒に楽しめる大会ができないものか。	みんな、誰も、多世代
111	その他	子どもも大人も区別なく、日本で暮らす外国の方々と触れ合い互いの文化を理解し合える場所が各地区にあると、これからのグローバルな時代に即した教育や理解に繋がると思う。	みんな、誰も、多世代
112	その他	2040年ほどのような世の中だろう。自動車は自動化が移動困難者はいなくなるかもしれない。ロボット技術が進化し非常に高度な介護ロボットが現れるかもしれない。科学技術の進歩により物理的な課題はある程度解決しているだろう。心のバリアフリーは最後まで残る。年齢・性別・障害の有無等に関係なく、全てに共通するのは身近な居場所と相談にのってくれるコーディネーターがいることだと思います。	みんな、誰も、多世代
113	その他	災害時は特に一人暮らし(高齢者)に対して見守り、声かけが出来る体制を作ってほしい。	支え合い
114	その他	心のバリアフリーが整っている。外国人労働者が働きやすい環境になっている。	支え合い
115	その他	認知症やひきこもりを抱える家族の辛さ、苦しみは計り知れないものがあるため、家族が支え合い共に助け合える組織づくりが市内にも必要。	支え合い
116	その他	災害時は特に一人暮らし(高齢者)に対して見守り、声かけが出来る体制を作ってほしい。	安心・安全
117	その他	さまざまな医療施設の充実と、高齢者の福祉施設の充実が図れるような場所が欲しい。引きこもりの人は、なかなか外に出ることができない傾向があると思うので、介護する人が"ホッ"とできる場所も必要である。	安心・安全
118	その他	高齢者、障がい者、外国人等の枠組みを超え、様々な方が集うことのできる場所が欲しい。	場所
119	その他	サークル、教室の公共施設利用。	場所
120	その他	さまざまな医療施設の充実と、高齢者の福祉施設の充実が図れるような場所が欲しい。引きこもりの人は、なかなか外に出ることができない傾向があると思うので、介護する人が"ホッ"とできる場所も必要である。	場所
121	その他	子どもも大人も区別なく、日本で暮らす外国の方々と触れ合い互いの文化を理解し合える場所が各地区にあると、これからのグローバルな時代に即した教育や理解に繋がると思う。	場所
122	その他	2040年ほどのような世の中だろう。自動車は自動化が移動困難者はいなくなるかもしれない。ロボット技術が進化し非常に高度な介護ロボットが現れるかもしれない。科学技術の進歩により物理的な課題はある程度解決しているだろう。心のバリアフリーは最後まで残る。年齢・性別・障害の有無等に関係なく、全てに共通するのは身近な居場所と相談にのってくれるコーディネーターがいることだと思います。	場所
123	その他	コロナ禍において引きこもりや生活困窮者が増加することが予測され、認定就労訓練事業所を体系的に増加させるなど、生活困窮に至らない施策の充実が望まれる。	その他
124	その他	医療的ケア児へ地域で必要な医療(医科・歯科)の提供ができる環境の確保	その他
125	その他	<ul style="list-style-type: none"> <障がい> ・共生型サービスの拡充、高齢者施設と障がい者施設の相互利用 ・大学内に障がい者が学べる環境が整っている <医療> ・オンライン受診が全体の30% ・在宅医療の、在宅ターミナルケアの推進 <外国人> ・外国人の入国規制緩和 ・外国人向け居住支援、日常生活支援コーディネーターの配置 <生活困窮者> ・生活保護受給者の大学進学 ・ひとり親世帯の水道光熱費無償化 	その他